

# いふた報六

1996

1月15日号  
No.489

良い年でありますように...

(初詣で、南宮大社)



# 誇りと愛着のもてるふるさとをめざして

平成6年度  
決算

## 一般会計歳出総額は83億3,208万6千円に

町では、年に2回財政事情を公表していますが、今回は平成6年度の決算について、その概要をお知らせします。

(公表の数値は、町民負担の状況、町債の現在高を除いて千円単位で整理してあります)

### 決算の概要

町の会計は、大別すると一般会計と特別会計に分かれています。

町の行政運営の基本的な経費を經理する一般会計の決算状況は〈図1〉のとおりです。決算総額では、歳入が94億6,216万3千円(対前年度比8.5%増)、

歳出が83億3,208万6千円(対前年度比4.1%増)でした。この歳入歳出差引額は、11億3,007万7千円ですが、これから翌年度に繰り越す事業に充てる財源を差し引いた実質的な黒字額は、9億396万3千円となりました。

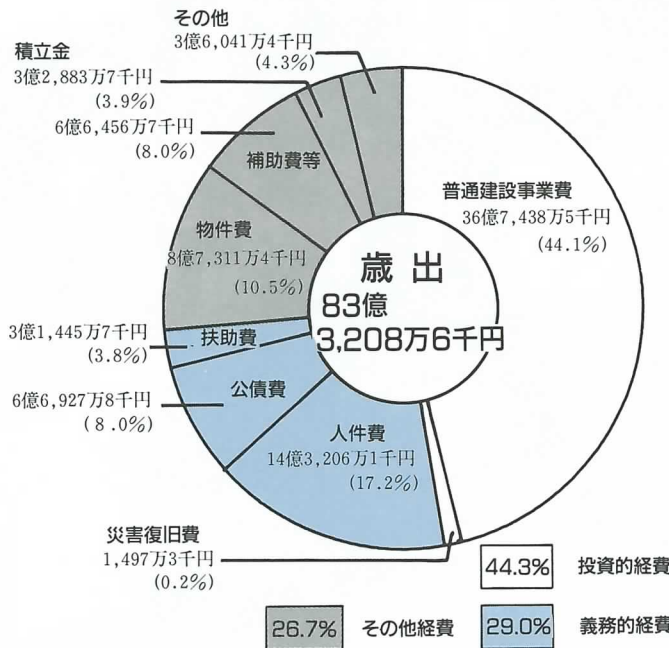
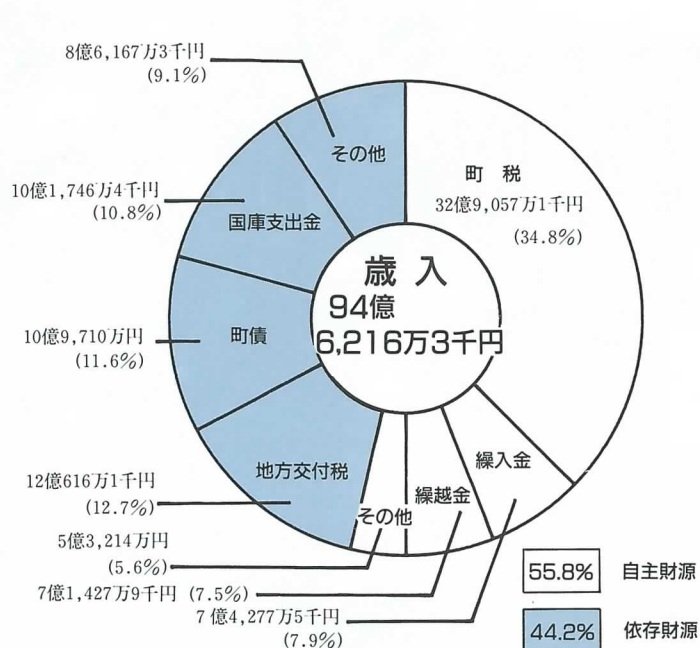
決算の内容をみてみますと、歳入では、町の財政を支える町税が32億9,057万1千円(対前年度比6.5%減)で、歳入全体に占める構成比は34.8%と、前年度(40.3%)を下回りました。

また歳出では、「緑あふれる快適なまちづくり」「生き生きとした活力のあるまちづくり」「心のふれあう温かいまちづくり」の3つの柱を中心に、住民総参加の行政運営を進めました。

特に、垂井駅周辺整備事業や朝倉運動公園整備事業などを継続して行う一方、全国古戦場シンポジウム「軍師サミット in 垂井」など様々な町制40周年記念事業を実施しました。

また特別会計の決算状況は〈表1〉のとおりです。

〈図1〉一般会計決算状況 (カッコ内の数字は構成比)  
(歳入は性質別)



〈表 1〉 特別会計の決算状況

会 計 名	予算規模 (千円)	収入済額 (千円)	支出済額 (千円)
国民健康保険特別会計	14億9,376万7	14億6,969万	12億6,911万5
簡易水道特別会計	7,028万2	7,597万7	5,692万6
住宅新築資金等貸付事業特別会計	838万	854万4	837万7
老人健康医療特別会計	16億7,627万4	17億191万2	16億2,015万8
ふれあい交流事業特別会計	1,800万	2,342万7	572万4
公共下水道事業特別会計	1億1,697万4	1億1,804万5	1億911万7
農業集落排水事業特別会計	370万	328万9	264万3

主な特別会計の事業内容

<b>国民健康保険事業</b>	2,751人
・年間平均加入世帯数	3,656世帯
・年間平均被保険者数	7,649人
・国民健康保険税	5億5,732万5千円
・1世帯当たり現年度平均保険税額	15万4,452円
・1人当たり現年度平均保険税額	7万3,824円
・保険給付額	9億5,053万1千円
・1世帯当たり平均保険給付額	25万9,992円
・1人当たり平均保険給付額	12万4,269円
<b>老人保健医療事業</b>	
・年間平均受給者数	2,751人
・医療諸費	15億1,780万9千円
・1人当たり平均医療給付額	55万1,730円
<b>ふれあい交流事業</b>	
・地域間交流事業：墨俣一夜城ふれあいウォーク、兵庫県三木市スポーツ少年団との野球交流、中山道宿場サミット本庄大会など	
・国際交流事業：表佐小学校 P T A 国際交流学級、平成6年度少年少女音楽大使派遣事業など	
・青少年派遣交流：中学生のカナダ・カルガリー市派遣事業（8日間）	

町民負担の状況

ごみの収集処理、老人福祉など地域福祉の充実、生活基盤の整備など、役場が行う仕事は多岐にわたっており、これらを行うためには多くの経費を必要とします。

この経費（行政経費）は、皆さんにご負担をいただく税金（町税負担額）のほか、国や県からの補助金、町債など

でまかなわれています。

平成6年度の決算額から、この「町税負担額」と「行政経費」の状況をみると、〈表

2〉のとおりとなります。町税負担額に対し行政経費は、約2.5倍となっています。

〈表2〉 町税負担額と行政経費

町民1人当たり		1世帯当たり
11万3,582円	町税負担額	39万6,168円
28万7,601円	行政経費	100万3,141円
人口 28,971人		（平成7年3月31日現在 住民基本台帳登録による）
世帯 8,306世帯		

基金の現在高

一般家庭の預貯金にあたる基金は、一定の事業を行うために積み立てるものです。平成6年度末での現在高の内訳は次のとおりで、総額は29億2,843万2千円となっています。

公共下水道基金	1,088,837千円
駅周辺整備基金	19,331千円
学校建築基金	193,814千円
減債基金	93,144千円
国民健康保険基金	291,834千円
財政調整基金	320,892千円
環境衛生施設整備基金	218,449千円
ふれあい交流基金	204,663千円
福祉基金	243,009千円
土地開発基金	152,498千円
その他	101,961千円

町債の現在高

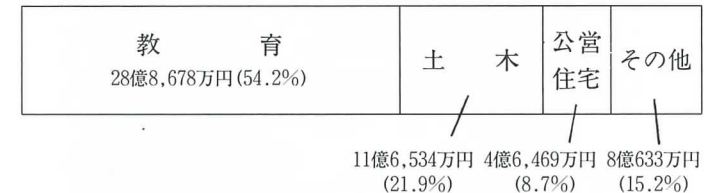
町では、国などから資金を借りて事業を進めています。この借入金を「町債」といいます。平成6年度末での一般会計の現在高は〈図2〉のとおりです。総額は、53億2,314万円で、学校整備などの教育関係で約5割を占めています。

なお町債の償還額は、将来公共施設を利用する町民の皆さんにも負担していただくことにより、世代間の負担の公平が図られます。ただし、町の債務でもありますので、将来の財政負担を十分考慮しながら借り入れています。

〈図2〉 町債の現在高（一般会計）

総額 53億2,314万円

（カッコ内の数字は構成比）





# 町行政改革大綱を策定!!

町行政改革推進本部は12月18日、向こう3～5か年での行政改革実施を目標とした「垂井町行政改革大綱」を策定しました。

具体的な措置としては、事務事業の見直し、効果的な行政運営、行政サービスの向上など6項目にわたっています。

町では、町長を本部長とし課長相当職からなる「垂井町行政改革推進本部」を6月に設置。課長補佐、係長からなる「行政事務改善委員会」を招集し、6月から約6か月間にわたり、行政改革について様々な角度から再検討してきました。

9月には、民間有識者10名

からなる「垂井町行政改革懇談会（広岡修会長）」に大綱案を諮問。12月8日に「行政運営を見直し、抜本的な改革を進めるべき」との意見が付記された答申を受けました。

これを受け町長は12月18日、推進本部を開き町行政改革大綱を策定しました。



▶ 田中町長に答申書を手渡す  
広岡修会長

## 主な内容

### ①事務事業の見直し

- ・町有自動車の集中管理を行う
- ・O A化に伴うA版化を導入する
- ・送付書等の公印・押印の廃止を図る
- ・空缶鳥設置事業に係る交換品の見直しを行う
- ・各種団体の自主運営と事務の縮小を図る
- ・類似する事務事業を整理合理化する
- ・統計資料の一括管理を行う
- ・水道施設整備計画を策定する
- ・リサイクル体制を確立する
- ・イベントの活性化を図る
- ・国際交流事業団（仮称）の設立を図る
- ・非常備消防事務の見直しを図る
- ・情報公開制度の導入を検討する
- ・各種使用料及び手数料の

改定を行う

### ②効果的な行政運営と職員の能力開発等の推進

- ・会計規則の見直しを行う
- ・防災救助体制を確立する
- ・外国語マニュアルを作成する
- ・専門職の計画的な確保を図る

### ③行政の情報化の推進等による行政サービスの向上

- ・行政事務の電算化を推進する
- ・住民票、印鑑登録証明書、税証明に係る自動交付機を導入を検討する

### ④時代に即応した組織・機構の見直し

- ・部長制を導入する
- ・新たに企画調整課を設置する
- ・駅周辺・下水道対策室を廃止 新たに下水道課を設置する

- ・厚生課を廃止 新たに保健福祉課を設置する
- ・教育委員会事務局の学校教育課と社会教育課を教育総務課と生涯学習課に改める
- ・水道課を水道事業所に改める

### ⑤定員管理及び給与の適正化の推進

- ・スクラップ・アンド・ビルドの徹底等による適正な定員管理を一層推進する 併せて、給与についても引き続き適正化を推進する

### ⑥会館等公共施設の設置及び管理運営

- ・施設管理公社を設立し朝倉運動公園、朝倉会館、勤労青少年ホーム等の管理運営・委託を行う その他の施設等についても管理公社への委託を検討する

# いただきます～す!

## 迷信? — 食べ合わせ —

「うなぎと梅干し」「天ぷらとスイカ」など、同時に食べると下痢や腹痛を起して、よくないといわれてきた「食べ合わせ」。あなたは信じますか?

何と現代の主婦の 9 割が食べ合わせを気にしているとか。食べ合わせのなかには、全く科学的根拠のない“迷信”にすぎないものが多い反面、一

つ一つの食品に目を向けると、「生活の知恵」としてそれなりの意味が見いだせるものもあるようです。

	例	とく 特	ちよう 徴
①	タコ、サザエ、アワビ、ハマグリ、タニシなど	しょうか 消化しにくい	
②	あおうめ 青梅、フグ、キノコなど	ゆうがい 有害成分や	ゆうどく 有毒成分を(ある時期に)含んでいる
③	サバ、カニ、エビ、うなぎ、ナマズ、コイなど	くさ 腐りやすく、	せんど また鮮度が見分けにくい
④	サバ、生卵など	とくいたいしつ 特異体質	げん 源となる
⑤	トウガラシ、ワラビ、竹の子など	しげき アクや刺激の強い成分	ふく 含んでいる
⑥	うなぎとスイカ、天ぷらとスイカなど		「油っこいもの」と「水分の多いもの」との組み合わせ

住田 実 現代によみがえった「江戸の病」の食生活 東山書房より

「食べ合わせ」の迷信を生んだ昔は、冷蔵庫や冷凍設備、清潔な調理法の知識もありません。食中毒に苦しみ、時には死に至ることも珍しくはなかったでしょう。

また、食事をする時の体調も見逃せません。体力が衰えていたり、消化酵素の働きが低下しているところへ、水やスイカなどで消化液を薄め、天ぷらなどの油っぽいものや消化しにくいものを食べると、おなかをこわすのは目に見えていますね。

### 現代版「食べ合わせ」の秘密

最近の研究によると、現代の食生活では、ある食べ合わせによって「体のなかで発がん物質が生じる」ことがありとされています。

ハムやソーセージに使われている「亜硝酸塩」に魚などに含まれている「第 2 級アミン」が反応すると、発がん物

## 季節のメニュー紹介

### ＝ かぶの柚香漬け ＝

- ◎材料 1 人分  
かぶ 70g<sup>ア</sup>  
塩 0.4～0.8g<sup>ア</sup>  
柚 少々  
A { 酢+柚の汁 4g<sup>ア</sup>  
砂糖 2g<sup>ア</sup>  
塩 0.3g<sup>ア</sup>

### ◎作り方

- ① かぶの根を横に薄切りにする。  
② ①に塩をふり重石をしてしんなりさせる。

- ③ 柚の皮は、千切りにしてサッと熱湯を通し、水で冷ましておく。  
④ Aの調味料を合わせておく。  
⑤ ②の水気をきり、④で食べる。  
⑥ ⑤を器に盛り③を天盛りにする。

かぶのかわりに大根を使ったり、柚のかわりにレモンを使うのもよいでしょう。



あししょうさんえん  
(亜硝酸塩)



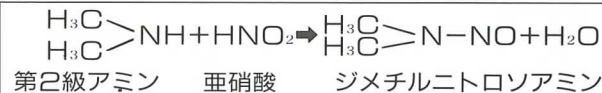
(第2級アミン)

→ ニトロ  
ソアミン

発色剤(ハム)  
野菜  
漬け物

魚・肉  
魚の卵  
(たらこ)

→ 発がん  
物質



質の「ニトロソアミン」を作り出すというのです。

しかし、それは、野菜などに含まれる「ビタミンC」や「ビタミンA・E」などが十分に存在しているところでは、ニトロソアミンの生成はほぼ

完全に抑えられてしまうのです。

野菜の少ない食事になりがちですが、野菜をたっぷりと含んだ食生活にすることが大切です。



# わがまちあそびこ

## 消防出初め式



新春恒例の消防出初め式が1月7日、文化会館で行われ、約600人の消防団員や婦人消防隊員らが参加。防火への決意を新たにしました。

式典では、永年にわたり消防業務に尽力した消防団員らが表彰されました。表彰された方は次の皆さんです。(敬称略)

### ○県知事表彰 (伝達)

#### 勤続功労章

本部副団長・若山隆史

#### 功労章

垂井分団副分団長・澤島精次、岩手分団分団長・田邊定幸、副分団長・内海文男  
消防団員優秀家族賞  
東分団分団長・廣瀬隆博

(妻) 幸子

### ○県婦人防火クラブ運営協議 会長表彰 (伝達)

#### 優良章

垂井第1支隊・西川豊子

#### 感謝状

婦人消防隊長・木村澄子

### ○県少年消防クラブ運営指導 協議会長表彰 (伝達)

#### 竿頭綬

岩手小学校防災少年団

### ○西南濃県事務所長表彰

#### 功労章

垂井分団部長・岡川芳夫、  
宮代分団副分団長・藤塚高敏、  
東分団分団長・廣瀬隆博、  
副分団長・荒井治彦、  
表佐分団分団長・久保田徳之

### ○日本防火協会 (優良幼年消防クラブ) 表彰 (伝達)

表佐幼稚園幼年消防クラブ

### ○県消防協会会長表彰 (伝達)

#### 功績章

本部分団長・柳瀬米和、府中分団分団長・竹中正伸、  
垂井分団部長・谷野融

#### 勤労章 (20年)

垂井分団分団長・宮野勝良

#### 勤労章 (15年)

岩手分団分団長・田邊定幸、  
副分団長・内海文男

### ○郡消防協会会長表彰

#### 功績章

東分団班長・河内義貴、柳瀬元昭、  
傍嶋一徳、宮代分団班長・伊藤誠一郎、  
団員・川瀬幸夫、多賀徹、  
表佐分団班長・江崎清明、  
山田栄、高木昭夫、  
多賀重光、府中分団部長・  
川本博之、班長・戸倉幸治、  
岩手分団班長・山口忠宏、  
北村嘉彦、中川泰一、  
団員・高木嘉彦、富永常夫

願いは一つ…  
火災のない年に



**勤労章（15年）**

宮代分団分団長・桐山浩治

**勤労章（10年）**

垂井分団部長・太田文秋、東分団部長・田中久哉、宮代分団部長・桐山清、坂口正明、若山文夫、表佐分団部長・丸山和弘、高木康司、府中分団部長・石川務、団員・高木友一、岩手分団部長・樽角誠、班長・中川利夫

**勤労章（5年）**

垂井分団班長・服部昌隆、団員・渡邊勉、東分団団員・吉田敬男、田村博之、高木一東志、宮代分団団員・藤塚正博、小森俊宏、奥西清孝、表佐分団団員・梅田和義、安田美勝、山田礼明、高木義彦、小野勇、府中分団団員・高木均、衣斐憲明、岩手分団団員・片岡兼男、宮川辰実、合原分団班長・栗田大、団員・多賀靖、水野考夫、水野靖博

**○垂井町長表彰**

**感謝状（民間消火協力者）**

伊藤千代子、岡本松子、大前千恵子

**功労章**

垂井分団班長・富田道夫、松浪敏郎、東分団部長・久野雄司、広瀬秀一、班長・

柳瀬英之、大脇敦、宮代分団部長・桐山一郎、班長・西川勝則、不破真佐雄、藤塚義隆、西川和也、西川義貴、表佐分団部長・山田伸夫、広瀬康則、府中分団班長・中井一史、石川時久、岩手分団部長・岩田廣光、班長・町田正博、原義孝、西脇芳信

**表彰状**

婦人消防隊長・木村澄子

**○町消防団長表彰**

**優秀章（消防ポンプ操法）**

東分団班長・小寺徳彦、団員・畠山幸夫、広瀬弘明、山口貢、酒井幹史、渡辺昇

**精勤章（10年）**

垂井分団部長・太田文秋、東分団部長・田中久哉、宮代分団部長・桐山清、坂口正明、若山文夫、表佐分団部長・丸山和弘、高木康司、府中分団部長・石川務、団員・高木友一、岩手分団部長・樽角誠、班長・中川利夫

**精勤章（7年）**

垂井分団班長・石田政雄、太田雅弘、小寺功一、団員・清水正博、東分団班長・小寺徳彦、団員・高橋健次、柳瀬勝彦、久世浩志、傍嶋雅徳、宮代分団団員・田川

章、酒井康友、中嶋浩幸、表佐分団班長・高木義勝、団員・栗田健二、府中分団部長・中川章善、高木輝幸、団員・玉井幸也、山村浩義、岩手分団班長・所隆志、団員・木村憲康、清水良治、高木敏満、松岡保明、高木良司、山口治男、細井博之、合原分団分団長・山田武美、部長・水野和幸、栗田雅人、班長・多賀明、川瀬元博

**精勤章（3年）**

垂井分団団員・富田幸治、西村政則、北島英一、東分団団員・廣瀬直樹、山口晋、三戸公治、広瀬弘明、久世高行、宮代分団団員・山田宏之、北戸一太、北河英喜、土山敏英、岡野文紀、表佐分団団員・多賀好文、臼井長尋、米田豊徳、府中分団班長・衣斐弘美、団員・岩田一彦、戸川達秋、辻川紀行、小林博之、高木厚、貴島武志、岩手分団団員・児玉晃、高橋哲範、岩田孝樹、合原分団団員・矢代孝明、大橋敦昌、野部徹

**多くの事業に…大いに活用！！**

町では、平成7年度自治宝くじの助成を受け、イベントなどで使用する**テント（27組）**を購入し

ました。今後、町の各種イベントをはじめ、多方面に大いに活用していきます。



▲146張りのテントが使われた垂井ピア95

**あちらの交流 こちらの交流 応援しま～す！**

町では、個性豊かな心のふれあうまちづくりを進めるため、町民の皆さんによる地域間交流や国際交流事業を支援する「**垂井町ふれあい交流事業助成金制度**」を設けています。

手続きは簡単です。皆さん、大いに活用ください。

**〈該当事業〉**

- 地域間交流事業：**自治、産業、教育、文化、スポーツ等の振興に係る交流事業など
- 国際交流事業：**青少年、指導者等の海外派遣。

外国人留学生等との交流事業。通訳、ホームステイ等の町民ボランティアなど

**〈助成基準〉**  
事業費の3分の2以内（30万円限度）。団体の場合は事業費の3分の1（1人10万円、1団体100万円限度）。ホームステイ等の受入先（1日2,000円）  
**問い合わせ先**

総務課企画係（内線217）



▲表佐小PTA国際交流学級



## 所得税・消費税の申告と納税は正しくお早目に!!

今年も、確定申告の時期が近づいてきました。

確定申告は、あなたの昨年1年間の事業活動などの総決算ともいえるものです。

例年のことですが、確定申告をする時に慌てないで済むように、帳簿類の整理、収入や経費の確認など早目に準備しておきたいものです。

○所得税の申告と納税は2月

16日から3月15日まで  
○個人事業者の消費税の申告と納税は3月31日まで  
となっています。

期限間近になると税務署の窓口も行列ができるほど大変混雑します。

申告のご相談や申告書の提出は、どうぞお早目にお済ませください。

## 還付申告説明会のお知らせ

大垣税務署では、所得税の還付申告書の書き方説明会を次のとおり開催します。必要書類を持参のうえご利用ください。

なお、当日は申告書の受付も行いますので、印鑑、筆記用具、計算機などご持参ください。

とき 2月1、2、5、6、8、9、13、15、16、19、20、22、23、26、27、29日  
3月1、4、5、7、8、11、12、14、15日  
午前9時30分～11時30分  
午後1時～4時  
ところ 大垣市民会館3階会議室 大垣市新田町1-2

みんなで文化財を  
災害から守ろう

1月26日は  
文化財防火デー



## お楽しみ映画会 を開催!

とき 1月27日(土)  
午前10時～11時30分  
ところ 中央公民館  
題名 太郎ヶ池の夏まつり、ぼくがおじいちゃんでおじいちゃんがぼく(いずれもアニメ)  
対象 幼稚園児、小・中学生  
入場料 無料  
問い合わせ先 社会教育課(中央公民館、内線224)

## こいのぼりを お譲りください

春の風物詩となった相川をまたぐこいのぼりの一斉遊泳。真っ白な伊吹山を背景に桜並木の中を泳ぐこいのぼりは大変美しく、町外からも多くの見物客が訪れます。

町観光協会では、今年も3月下旬から5月上旬まで、こいのぼりの一斉遊泳を計画しています。

ご家庭で使われなくなったこいのぼりがありましたら、ぜひお譲りください。

提供先 町観光協会(産業課内、内線287)

お持ちいただけない場合はお宅まで伺います。

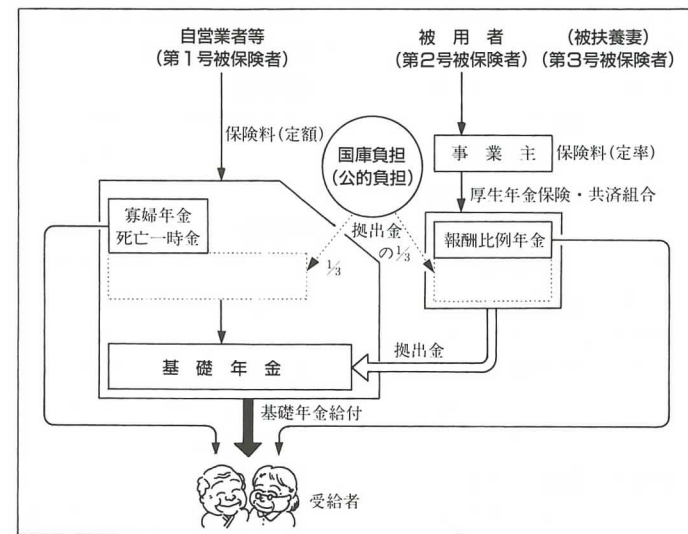
## 保険料は基礎年金の給付に大切な財源です

基礎年金の給付に必要な財源は、次の①～③によりまかなわれます。

- ①第1号被保険者の保険料
- ②第2号・第3号被保険者に対する厚生年金・共済組合からの拠出金
- ③国庫負担(給付の3分の1)

なお、国民年金独自の給付(寡婦年金や死亡一時金など)に要する費用は、第1号被保険者の保険料でまかなわれます。

### 基礎年金の財源の流れ



注①厚生年金・共済組合の被保険者(第2号被保険者)とその被扶養配偶者(第3号被保険者)にかかる拠出金は、次の式に計算されます。

### 厚生年金の例

$$(\text{基礎年金の給付に要する費用}) \times \frac{(\text{厚生年金の被保険者総数}) + (\text{左の被扶養配偶者総数})}{(\text{国民年金の被保険者総数})}$$



# 保健ガイド

保健センター  
☎22-1021

## 母親学級(Aコース)

と き 2月6日(火) 午後1時30分～

と ころ 保健センター

内 容 妊娠中の生活、妊産婦体操

持ち物 体操のできる服、母子健康手帳

## 麻しんの予防接種

麻しんの予防接種は1月31日(水)までです。

まだ受けてない方は、体調

の良い時にお早めに受けてください。

## 乳 児 健 診

と き 2月13日(火) 午後1時15分～2時30分

と ころ 保健センター

対象者 平成7年8・9月生まれの方

内 容 内科診察、身体計測、問診、発達チェック、保健指導、離乳食指導

持ち物 母子健康手帳

# 生き生きライフの地区公民館活動

## 垂井公民館 ☎23-1409

### ○パッチワーク

1月19日、2月2日(金)午後2時～

### ○一本針編物教室

1月20日(土)午前9時30分～

### ○歴史教室

2月3日(土)午前9時～

### ○パンジー花植え作業

2月4日(日)午前9時～

### ○子供俳句

2月4日(日)午前9時30分～

## 宮代公民館 ☎22-1010

### ○大正琴

1月18日(木)午後2時～、午後7時～

### ○園芸教室

1月20日(土)午後2時～

### ○書道クラブ

1月24日(水)午後2時～

### ○茶道

毎週土曜日午後2時～

## 表佐公民館 ☎22-1011

### ○色別対抗綱引き大会

1月21日(日)午前8時30分～

### ○民謡クラブ

1月18、25日、2月8日(木)午後7時30分～

### ○詩吟クラブA

1月17、24日、2月7、14日(水)午後7時30分～

### ○詩吟クラブB

毎週金曜日午後7時30分～

## 合原公民館 ☎23-0931

### ○生け花クラブ

1月25日、2月8日(木)午後7時30分～

### ○スポーツ教室

毎週日曜日、2月12日(月)午後7時30分～

### ○つまみ画クラブ

第1水、金曜日午後1時～

### ○カラオケ同好会

毎週金曜日午後7時30分～

## 東公民館 ☎23-0028

### ○ふるさと歴史講座(古文書)

1月21日(日)午後2時～

### ○ペン習字教室

1月26日、2月9日(金)午後2時～

### ○詩吟(神心流)

毎週木曜日午後7時30分～

### ○健康体操

毎週土曜日午後7時30分～

## 府中公民館 ☎23-2002

### ○手芸同好会

1月17、31日(水)午前10時～

### ○詩吟クラブ

1月22、29日(月)午後7時30分～

### ○華道クラブ

1月20、27日、2月3日(土)午後7時30分～

### ○扇舞教場

毎週土曜日午後7時30分～

## 岩手公民館 ☎22-1007

### ○青少年健全育成地区民大会

2月11日(土)午前8時30分～

## 阪神・淡路大震災から1年

# いざという時のためにあらためて地震に備える

### ◎家族で防災会議を開こう

大地震が起こった時に備え、ふだんから家族で次のことを話し合っておきましょう。

①家の中でどこが一番安全か

②幼児やお年寄りの避難は誰が責任をもつか

③避難場所、避難路はどこか

④避難する時誰が何を持ち出すか

⑤非常持ち出し袋はどこに置くか

⑥家族間の連絡方法と最終的に落ち合う場所はどこにするか

### ◎消火用具はすぐ使えるところに

消火用具は使いやすいところに置きます。消火用水として常に浴槽には水をはっておくこともお忘れなく。非常持ち出し品としては救急箱、衣類、手袋、毛布、ヘルメットまたは防災ずきん、携帯ラジオ、食品、水、缶切り、ライター、ナイフ、懐中電灯、ロウソク、現金、通帳、印鑑などを用意しましょう。

### ◎家の内外を点検しよう

ブロック塀などの倒壊の原因は、基準どおりの鉄筋が入っていなかったり、転倒防止の控壁がなかったりなど、施工上の欠陥によるものが多いので点検しましょう。柱などで老朽化しているものは補強しましょう。家の中では、テレビやタンスなど家財道具を固定し、ガラス戸が割れて飛び散らないように飛散防止フィルムなどを張りましょう。

## 心にのこる1冊

「わたしのいもうとの話を書いて下さい。」という一文で始まる手紙を受け取った作者・松谷みよ子さんは、読み進むうちに胸がいっぱいになり、何とか世間に訴えなければと



▲ 借成社

## わたしのいもうと

松谷みよ子・文 味戸ケイコ・絵  
 いうことでこの絵本が生まれました。手紙は「私の妹」は転校生というだけでいじめられ、拒食症になり、そしてひっそりと息をひきとったというものでした。

今、日本中の学校でいじめの問題がとりあげられています。自分と同じでないと許せない、誰かを差別することで自分を保つ、そういった考えは大人にもあるのではないかと考えさせられる一冊です。(渡辺司書)

## もよおしもの

文化会館  
23-1010

■池坊初生け会 1月20日(土)・21日(日) 午前9時～午後5時

■北中合唱CD録音 1月25日(木) 午後1時～午後4時30分

## 趣味の小品展作品を募集

2月25日(日)～3月3日(日)開催

町、町教育委員会は2月25日～3月3日、文化会館で第1回趣味の小品展(無審査)を開催します。皆さんふるってご出品ください。

作品募集部門：日本画(墨画含む)、洋画、書、彫塑工芸(手工芸含む)

出品点数：各部門ごとに一人一点限りとします。

応募資格：町内に在住、通学、通勤の方(高校生以上)

搬入日時：2月17日(土)～19日(月) 午前9時～午後5時

問い合わせ先：文化会館(☎23-1010)

## タルイピアセンター図書館(☎23-3746)

## 児童書

- ・コップの実験 (さ・え・ら書房)
- ・くらしとパン (ひかりのくに)
- ・新幹線(フレーベル館)
- ・リチャードの図書館大冒険(デイブ・ブレッグ、フレーベル館)
- ・転校生は宇宙人? (阿部肇、ポプラ社)
- ・にじいろのさかな (マークス・フィスター、

## 講談社)

## 一般書

- ・クロニク戦国全史 (池上裕子、講談社)
- ・グリーンピース・ストーリー(ジョン・メイ、山と溪谷社)
- ・暮らしの骨董入門 (淡交社)
- ・与える愛に生きて (瀬戸内寂聴、小学館)
- ・二度目の大往生 (永六輔、岩波書店)

- ・勝者の資格 (野村克也、扶桑社)
- ・森と心 (稲本正、角川書店)

## 文学

- ・時にはうどんのように (椎名誠、文芸春秋)
  - ・木を見て森をみない (青山南、同文学院)
  - ・秀吉謀反 (土岐信吉、河出書房新社)
  - ・嵐ヶ熱血ポンちゃん (山田詠美、講談社)
- などをとりそろえました。

## ふるさと歴史探訪

人を招き、福を招く招き猫。町中を歩けば、商店の店先で私たちを呼んでいます。

彼が最初に現れたのは、今から400年ほど前のこと。江戸のとある寺の門前で、ここでかわいがられていた猫が、

たまたま通りかかった彦根の殿様を招き入れたそうです。この猫こそが彼らの御先祖様なのです。

時は下って幕末のころ、江戸の浅草で諸願成就の招き猫が売り出され大人気。これを

ごりやく あいきょう  
御利益と愛嬌  
まね  
一 招き猫一

きっかけに全国へ広がり、今ではどこでも彼らをみかけるようになりました。

幸福と御利益の守り神である彼らは、今日もその愛嬌で私たちを呼んでいます。

(原田学芸員)



この広報紙は再生紙を使用しています。